

南あわじ市 平成 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

基本事項

整理番号

団体名		予算科目	会計	
担当部課名			款	
連絡先	0799 - -		項	
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目	
	<input type="checkbox"/> 任意的(自治)事務			
新市建設計画 施策体系	基本方針	新市建設計画において定義される体系にそれぞれ分類されます。(内部事務等一部除きます。)		
	施策の柱			
	主要施策			

Plan & Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事業概要	目的	対 象 (誰を・どのような状況の人を、構成員内訳)		
		当該事業が直接働きかける相手(人数)が記入されます。		
		構成人数(人)		
		活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)		
		当該事業を行う結果として、上記の対象をどのような状態にした いのか、またどのような効果を得ようとしているのか、事業を実施 する「本来の目的」が記入されます。		
	実施内容	(主な事業、活動内容等)		
		上記の「目的」を達成する為に何を行うのか、どのようなことを するのか、執行内容が記入されます。		
団体の概要	(どのような団体か、活動目的、活動内容など)			
	補助金を交付する団体の構成内容や団体の活動目的、過去の活動 内容などが記入されます。			
	事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input type="checkbox"/> 補助団体	<input type="checkbox"/> 市役所	<input type="checkbox"/> 市単位 () <input type="checkbox"/> 旧町単位 () <input type="checkbox"/> 旧村単位 ()
補助金算出根拠	どのような経費に対して、いくらの割合で補助金が算 出されているのが記入されます。			
補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度	<input type="checkbox"/> 設定なし		
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)			
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から			
	当該事業が合併協議においてどのように調整され、現在の事業実施 に至っているかが記入されます。 また、合併に伴い新規に行うこととなった事業についても、その調 整内容が記入されます。			

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資源配分(インプット)	直接事業費[A] (千円)	0	0	0	0
	例:負担金、補助金、交付金 事務局事務費				
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	30.7	30.7	30.7	30.7
	事業量1(事業に要した日数)	事業に要した日数と従事人数が記入されます。			
	事業量2(事業に要した人数)				
	年間経費([A]+[B])	0	0	0	0
	財 源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源	0	0	0	0
	「目的」対象一人当り経費 (千円)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	受益者人数()1人当り経費 (千円)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
経費に関する補足説明	経費に関して著増減があった場合や特記事項が記入されます。				

Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果分析、問題点・課題等)	<p>交付された補助金が無駄なく効果的に執行されているかという視点(コストパフォーマンス度)から評価、分析をします。 また、5点満点で自己評価を行います。</p>	自己評価 (5点満点)	5
必要性	(市民ニーズ、緊急性、社会潮流等)	<p>解決しようとしている課題、市民ニーズと今後の動向などから、当該事業の必要性について評価、分析をします。 また、5点満点で自己評価を行います。</p>	自己評価 (5点満点)	5
公共性	行政関与の妥当性 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 (行政関与と妥当性を判断した理由)	<p>市が補助金を交付する理由を分析します。 また、5点満点で自己評価を行います。</p>	自己評価 (5点満点)	5
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 前述の3つの自己評価から、事業の現状や課題について分析をします。 3つの自己評価の点数に応じて自動的に表示されます。	<p>評価グラフ</p>		

Action & Plan (改革・改善の内容及び次年度以降の計画)

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持
	<input type="checkbox"/> 見直し (内容) <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 交付方法見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
	(具体的理由および次年度以降の計画)
	<p>「 Check (自己評価・一次評価) 」から、今後の方向性や次年度以降の計画が記入されます。</p>
	他の自治体の動向、事業を取り巻く環境 (対象や根拠法令等) の変化
	<p>当該事業を取り巻く環境 (政治、経済、社会情勢) に関して、予想される今後の状況の変化が記入されます。他の自治体の動向についても比較して記入されます。</p>
「見直し」の場合の改善策	具体的な改善案 (資源の量、手段の見直し等)
	<p>上記の「今後の方向性」から、「何を」「どのように」改革・改善すれば良いのか、具体的な方法が記入されます。</p>
	改善によって期待される効果
	<p>上記の改革・改善によって期待される効果が記入されます。</p>
廃止の影響	仮に補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響 (プラス面、マイナス面) (注 : 現状維持の場合も記入)
	<p>「事業統廃合」、「休止・廃止」の方向性のみならず、「現状維持」でも仮に事業を中止とした場合に、想定される影響が記入されます。</p>